

りんご生育情報(7月号)

【発行】宮城県登米農業改良普及センター

電話 0220-22-8603

令和5年7月18日発行

HP <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-tmsgsin-n/>

普及センターのホームページでは、過去の技術情報も掲載しています。お手持ちのスマートフォンなどで右のQRコードを読み取るとホームページへ移動できますので、ご利用ください。



1. 果実肥大状況

7月10日現在の「ふじ」の果実肥大状況は、平年と比較して、タテ径109%、ヨコ径113%と大きくなっています。作況調査ほどはへん平果が多い傾向がみられました。

表1 果実肥大調査結果 (mm)

	タテ径	ヨコ径
本年	49.2	55.0
平年値	45.2	48.5
平年比	109%	113%
(参考)ゾヨイト樹	48.1	56.7

※東和町錦織の測定値。ゾヨイト樹は中田町川欠の測定値。

◆管内の凍霜害の状況について◆

4月の低温により発生した凍霜害の影響とみられるサビ果が管内でも散見されます。発生程度は品種やほ場によってばらつきがありますが、被害が大きい場合は果面全体のサビ(写真1)が、被害が軽度の場合はていあ部のサビ(写真2)がみられています。着果状況を確認しながら、サビ果を優先的に摘果するようにしましょう。



写真1 果面のサビ果の様子 (中田町)



写真2 ていあ部のサビ果の様子 (中田町)

2. 病害虫の発生状況

宮城県病害虫防除所が7月10日に発行した発生予報第6号では、斑点落葉病、褐斑病、キンモンホソガの発生量が「やや多い」と推測されています。また、ハダニ類、アブラムシ類の発生量は「平年並み」となっています。

管内では、既にハダニ類の発生が確認されている園地もありますので、観察を強化し、多発する前に防除を行うようにしましょう。

表2 宮城県病害虫防除所発生予報第6号(令和5年7月10日発行)

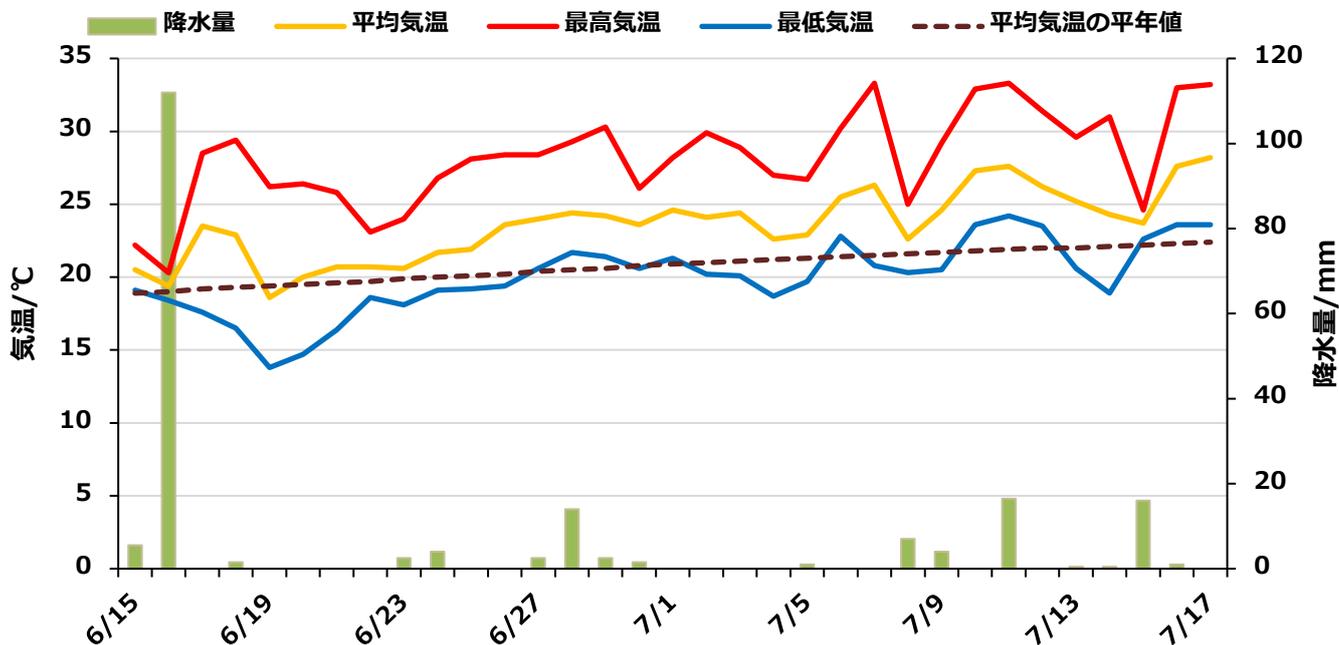
病害虫名	発生量
斑点落葉病	やや多
褐斑病	やや多
キンモンホソガ	やや多
ハダニ類	平年並
アブラムシ類	平年並





3. 気象の推移

6月15日から7月17日までの気温、降水量の推移は図1のとおりです。気温は、平年より高い日が続き、6月下旬以降は平均気温を下回る日はありませんでした。



これからが夏本番。熱中症になりやすい気象状況が続きますので、作業前・作業中の水分補給やこまめな休憩をとるなど、健康管理に注意してください。日中の気温の高い時間帯を外しての作業や、熱中症予防グッズを活用するなど熱中症対策を心がけましょう。

4. 今後の管理について

◆今月の作業のポイント◆

① 見直し摘果を行い、着果量の最終調整を行いましょう！

- 仕上げ摘果終了後も適宜園地を回り、樹勢に見合った着果量となるように果実を選択的に摘果すると良いでしょう。

② 支柱立て・枝つりを行い、樹光態勢の改善を行いましょう！

- 作業により、果実の品質向上と翌年の花芽分化発達を良好にします。また、散布薬剤の到達・付着を良くし、薬剤散布の効果を高めましょう。

③ 適期防除を意識し、予防防除に努めましょう！

- 梅雨時期は防除間隔も空きがちになりやすいですが、天気予報を確認しながら降雨前散布を心がけましょう。

④ 下草管理を行い、ほ場環境を適切に管理しましょう！

- 草生栽培園では草刈り機による刈取り除草が望ましいですが、労力的に間に合わない場合や草刈機を使用できない場合は除草剤を利用し、雑草の開花前に散布するようにしましょう。

🍏 農薬危害防止運動実施中 🍏

～農薬はラベルをよく読んで適正に使用しましょう！～

